

## 第2回 燕市産業振興協議会 議事録

日 時：令和8年3月27日(金)  
13時30分～15時00分  
会 場：市役所4階 会議室401

参加者：細川委員（燕商工会議所 会頭）  
星野委員（つばめ商工会 会長）  
中島委員（つばめ商工会 副会長）  
小林委員（日本金属洋食器工業組合 理事長）  
池田委員（日本金属ハウスウェア工業組合 理事長）  
鳥部委員（協同組合つばめ物流センター 代表理事）  
本間委員（燕商工会議所 工業部会 部会長）  
山村委員（燕商工会議所 女性部会 部会長）  
平出委員（つばめ商工会 商業部会 部会長）  
後藤委員（つばめ商工会 工業建設部会 部会長）  
外山委員（第四北越銀行 燕支店長）  
池内委員（協栄信用組合 理事長）  
関本委員（巻公共職業安定所 所長）  
澁川委員（公益財団法人燕三条地場産業振興センター 専務理事）  
松崎委員（日本労働組合総連合会 新潟県連合会 県央地域協議会  
議長）  
  
佐野委員（燕市長）  
遠藤委員（燕市副市長）

事務局：産業振興部長、商工振興課長他

会議次第：

1. 開 会

2. 会長あいさつ（燕市長 佐野 大輔）

私自身も今回初めての参加になるので、よろしくお願ひしたい。

世界情勢も含めて、なかなか厳しい状況があるということは認識している。少子高齢化により人手不足というところもあり、今で言えばホルムズ海峡がああいう形になっている中で、これから原油というところがどうなっていくのか、それが各産業の中にどれだけ影響を及ぼしていくのかというところも、これからの大きな課題の一つだと思っている。

先日、令和8年度の予算も何とか成立をさせていただき、また3月20日には合併20周年の記念式典を終えたところ。本日は忌憚ないご意見等、またぜひいろいろなお提案も含めていろいろお話を聞けたらと思うのでお願いします。

### 3. 議 題

#### (1) 新年度の産業振興施策について（報告）

燕市産業振興部商工振興課より新年度の商工振興施策の説明、観光振興課より観光振興施策の説明があり、その後質疑応答を行った。

#### (2) 各業界における景況について意見交換

##### ■中東情勢の影響について

・今までも地場産業の状況は決していいとは言えないと思うが、さらにプラスして石油関係の方の素材とするいわゆるプラスチック関係で、燕市の産品、例えば台所用品で、取っ手の部分はプラスチックになっているような物とかもかなりの量があるかと思うが、それらの調達がこれから滞ってくるんじゃないかということ懸念している。

・ナフサが入ってこなく、化成品を使うパッケージもあるので非常に苦労している。

・業種的にはプラスチック製造業と、あと塗装業というところで、結局そのナフサから由来してとか、そういった塗装関係のものを扱っているようなところは今非常に供給の制約を受けているというような話を聞いている。製造工程の中で、おそらく塗装というのは何らかの一つの工程で組み込まれていると思うので、そこが滞ってくると、結局、全般的な製品が最終品作れなくなってしまうというような事態を懸念している。今のところ4月5月ぐらいまでは供給量が確保できているというような話があるが、これが長期化してくることによって、その後の調達ができなくなってくるとそういった部分で、影響を及ぼしてくるのか、プラスチック業と塗装業については今のところ注視しているというような状況。

・原油価格の高騰の中で、自社の製品を運んでいただいている運送業者、運送業こちらにもかなりもう今、影響が出始めている。運送業の方々は、自分の会社で大量の燃料を購入することによって割引が入ってそれを使っていることだが、結構早い段階でもう政府から制限がかかっていると聞いている。それに伴い、自社も受注の取り方などいろいろと検討しているところ。

・イラン情勢の影響で、1件2件ぐらい、ものではなくて包装資材が入手できないので納品ができないというような連絡が来ている。そういう部品ではなくて包装資材のために出荷できないみたいなども出てきているように聞いている。

・イラン情勢に関してはまだ影響を直接受けてる感じはしないが、表面処理に

関わる有機溶剤が手に入らないということをご2,3日前から言われて驚いている状況。

- ・プラスチックが入らないとか、塗装屋でシンナーが3月中は本当に出荷停止。価格が上がるというのはもう世界情勢でもどうしようもないので周囲から理解はいただけるかもだが、物が無いというのがやっぱり一番まずいことで、それがどんどん波及してマイナスなことが連鎖的に起こっていきそうな気がしている。

- ・金属の洗浄剤も原油だったりナフサ由来だったりするので、メーカーと話をしたところ、今のところ物の調達は大丈夫だけど、この先は読めない、ちょっと不透明とのこと。

- ・ビニール袋の業者から、「これから材料調達困難で、商品ができない可能性がある」旨の連絡があった。

- ・絞り（プレス）に使用する良質な油が生産困難で調達しにくい状況にある。まだ確保はされているが、駆け込みの大量購入はお断りといった連絡がきている。

#### ■景況感全般について

- ・景況感については昨年からの人件費や原料価格の高騰、また人手不足といったところが事業者の経営課題として継続しており、昨年からのところで、大きな景況感の変化があるかということとそのような状況ではないが、やはりイラン情勢のところが非常に大きくなってきている。

- ・地元でかなり大きな倒産が続いたという状況がある。その状況というのは、残念ながらその業種に限ると改善してない、改善の兆しが見えない。そうした中で、今後のことも含め、これまでニーズが弱かっただけのいわゆる運転資金的な需要を、あらかじめ手配しておく、また手形がなくなるのはもうそこまできているので、そういう意味でも当座貸越をおすすめしている。

- ・2026年の全体的な金属加工の仕事量としては増えているような気がしているが、儲かっているかということに関しては、儲かっている感じはしない。価格転嫁が多分できてないというところが大きい理由だと思っている。

- ・物流センター組合員からアンケートを取ったところ、景況感や売上に関してはプラスという状況で思いのほか割と良いんだなと思った。ただし受注がマイナスで先行きが少し怪しいじゃないかと皆さんおっしゃっているところ。また利益状況もマイナスで売上が上がっているけど利益が取れていない。影響の大きなところでいえば仕入れ価格の高騰で、まさにプラスチック系ビニール系はさらに上がってくると思われる。

#### ■人材確保、DXについて

- ・景気が良くないから人手不足がないのかということ、人手不足はある。そうい

ったものについては商工会議所でもなるべく付加価値を上げられるようにということで DX も含めて、いろいろ啓蒙などしているが、今日またこういうふうに市もいろいろ補助を検討いただいているので、それらとあわせて、着実にそっちの方は進んでいけたらいいと考えている。仕事柄そういう人手不足対策に関するようなロボットなどをやっており、そういう面で私は全国的に見えているので、何か産地がそういう面で遅れないようにしてってもらいたいなどということで、また市と協議させていただきながら、支援できるところは支援していける体制を作りたいと考えている。

・DX とロボット化について、会議所工業部会としても取り組んでいきたいと思っている。DX の本質をまずはきちんと理解をしようというところで、先日会議所副会頭の樋山さんから講演をいただいて、まず我々が理解をして。今、部会員皆さんにアンケートを取って、どういうふうに思われているかをリサーチしてみようかと思っている。その集計に基づいて皆さんが求められているような活動を部会としてやっていけたらいいと考えている。

・令和 5 年度 6 年度が求人倍率 1.6 から 8 ということで非常に高い数値で動いていて、今年度 7 年度に入ってから、1.2 倍前後ということで少し落ち着きを取り戻していたが、ここへ来てまた求人倍率もずっと右肩上がりで、1.5 倍に迫るといような状況になってきている。特にその中でも若い人の求職が減ってきていて、年齢の高い層が増加しているという特徴がある。高校生の状況でいうと、6 年度 669 人の卒業予定者は 7 年度 590 人ということで 100 名近く減っており、就職希望者が昨年の 73 人に対し、今年は 59 名。管内求人の充足率は 20.9% で 5 人に 1 人といった非常に各企業にとっては厳しい状況が今後も続いていくものと言われている。

・人材が不足しているという中で、既存の若い社員が辞めていく、特に発達障害や適応障害などの身体的な障がいではない障がいをもつ従業員に関して意見があった。従業員が 40 名以上いる企業に関しては障害者雇用率制度に基づいて少なくとも 1 名以上は障害者を雇用するというのが民間企業に義務付けられていると思うが、40 名未満の企業でも障がいを持った社員を雇用している現状もある。既存の社員とのコミュニケーションに課題があり、人材が不足する中で企業としても軽視できない問題であると思っている。

・学生のインターンシップについても受け入れることに躊躇している企業は多いのではないかなと思う。何をさせればいいのかとか、小さい会社だからといって、お断りする傾向っていうのも多いんじゃないかなというふうに思うが、やっぱりインターンシップの意味というのは企業との関係性をより安全に試せる場所、機会だというふうに私は思っている。弊社も今、学生をインターンシップでお預かりして、一緒に働いているが、やはり今できることが将来できること全てではないかもしれないが、インターンのその経験というのはやっぱりしたい仕事・できる仕事に近づけるための大切な一歩だと私は思っているなので、受け

入れる企業の意識を高めるといような支援をもっと充実することで深刻な人材不足を回避できる可能性があるのではないかなというふうに思っている。

・洋食器工業組合で厚労省の助成金を受けて、組合を窓口にして有料求人サイトに募集をかける施策を実施している。また学校まわりをしてくれるコンサルとも契約した。各企業と契約してもたった1人しか受け入れられないため、組合が窓口になれば継続性を出せるのではないかと考えた。学生はほとんど進学ということで少し前まで諦めていたが、親御さんに情報が届いていないため安心感のある進学を選ぶ状況もあると聞いたので、だったら情報を届けようと考えた。

#### ■まちなかにぎわい・商店街・個人商店について

・飲食業、飲食店は選ばれるところは多分どこもいいと思う、わざわざそこに来るっていうことで。そういうところだけ見ていると専門店とかそういうところがこの先多分生き残っていくんだろうなというふうには見ている。そうは言ってもそういう状態になると飲食店については宴会とかそういうのがだいぶ減ってきてるような感はあるので、その宴会が減るってことは、その後の必要かという自分には必要だと思うけど、スナックみたいな街が賑やかになるような商売も減ってくるしタクシーも減ってくるでしょうし代行もやっぱりやれなくてっていうあんまり良いサイクルに入っていないなというふうに感じている。製造業の方にしてみれば本当に自分たちが選ばれるような製品を作っている技術をもっているというんで、飲食というか個人商店も、やっぱりお客さんに選ばれる、燕以外からも来てもらうような何かっていうのがこれから先やっぱり必要なんだろうなというふうに思う。

・商店では廃業される方が結構出てきている。昔からやってるとこなんで廃業されてもおかしくない方々が廃業されてるところもあり、2年3年先に廃業される方々がたまたま今回廃業されても、別にどうこうっていうことじゃないかという意見もあるが、この全体が落ち込んでいる中で、うちも廃業、こっちも廃業っていうふうになると、イメージ的に結構ダウンと思う。なので抽選会を含んだ売り出しを盛大に行い、商工会として商店街を1年でも2年でも1件でも多く営業を続けていただけるように取り組んでいるところ。

#### ■新産業の創出、イノベーションについて

・新たな産業の創出の部分で、昨年機械学会に行く機会があったが、行ってみるといろんなまた気づきみたいなものがあるんじゃないかと思う。教授とか先生たちは、自分たちがこうやっている技術がどう社会に役立つかを知りたいというところで、企業側を求めているみたいなニーズもあるというところなので、今後の可能性も含めて活動していきたいと思っている。

・イノベーションを促すという意味で、自社の倉庫リテール、倉庫を開放して

小売をしようかと検討したが、用途地域の関係でここではできないと市の職員に言われた。前向きに話が進んでいるのかもしれないが、規制緩和を柔軟に考えていただきたい。

#### ■その他

・燕というと、金属加工で言うと、深絞りは得意だよねという強みと、やはりバフ研磨、表面処理、ステンレスの加工の産地で研磨というふうなイメージがあるが、そこもだいぶ弱くなってきていて、他県に負けているような感じを展示会に出ると肌感で感じている。

・物流センターの仮に浄化槽を自前で作るとなると、物理的にその場所がない、高額であるという人が結構いる。自前で何とかしようというつもりがないわけではないが、市が元々50年ほど前に造成してくれたわけなので、下水道が市の下水の方に繋がれば一番いいかなと考えている。

#### 4. その他

事務局より職員の異動について連絡があった。

#### 5. 閉 会